

第4回定例会を開催 ～市政全般をチェック～



第4回定例会では、補正予算や条例議案などを常任委員会で審査した後、市政運営について代表質問を行いました(2・3面)。慎重審議の結果、32議案を議決しました(4面)。

2日間にわたり、市政運営について各会派を代表して5人の議員が質問を行いました。その一部をご紹介します(詳しくは、市議会ホームページの「議会中継(録画放映)」をご覧ください)。

自由民主党千葉市議会議員団

中島 賢治



土木事務所への要望件数と対応状況、今後の取り組みは

問 草刈りや区画線の引き直しなど、土木事務所に寄せられる道路の維持管理に対する要望件数と対応状況、今後の取り組みについて伺う。

答 令和4年度の要望件数は約1万件であり、計画的に対応すべきものを除き、97%を処理している。要望が増加傾向にある草刈りについては、今後防草シートなどで覆うことで草刈りの全体面積を減らす取り組みを推進することや効果的な除草方法の検討により、業務を効率化し、要望に対応する。

郷土博物館のリニューアル内容と今後の取り組みは

問 令和8年に千葉開府900年を迎えるにあたり、郷土の歴史に対する理解を深める役割を担う郷土博物館の魅力を高める必要があると考え、展示内容の充実に向けた取り組みを伺う。

答 第1次実施計画に基づき、令和7年度に展示のリニューアルを予定している。テーマを「陸と海・人とモノを結ぶ『千葉』」とし、展示内容の検討を進めていく。今後は、リニューアルオープンに向け、千葉氏特別展など開府900年記念イベント等の企画を行うなど、本市の魅力を発信していく。



郷土博物館

立憲民主・無所属千葉市議会議員団

亀井 琢磨



子ども医療費助成制度の拡充に関する本市の基本的な考えは

問 来年度から本制度が拡充されるとのことが、本市の基本的な考え方を伺う。

答 保険調剤及び第3子以降の保護者負担を無料とするなどの今年度の制度拡充に続き、令和6年8月から、助成対象を高校3年生相当年齢まで拡大するとともに、小学4年生以上の通院にかかる保護者負担額を1回につき500円から300円に引き下げることで、子育て支援のさらなる充実に努めていきたい。

公立保育所における保護者負担軽減のための取り組みは

問 限られた朝の時間の中で登園準備を行うことは、保護者にとって負担であると考え、保護者の負担軽減のための取り組みを伺う。

答 市内の多くの民間保育園では、3歳以上児にもごはんなどの主食を提供している。公立保育所においても、主食提供を求める声が保護者から寄せられているため、来年度から段階的に3歳以上児への主食提供を実施することを検討している。



郷土博物館

常任委員会

各常任委員会では、補正予算・条例議案などを詳細に審査しました。質疑の一部をご紹介します。

委員会	所管事項
総務	危機管理、防災、総合計画、行政改革、財政など
保健消防	保健医療、高齢者・障害者の福祉、救急、消防、病院など
環境経済	市民協働、文化・スポーツ振興、環境保全、ごみ、経済振興、農業など
教育未来	子どもの福祉、子育て、教育、生涯学習など
都市建設	まちづくり、公園、住宅、道路、上下水道など

総務委員会 議案8件

本市の公文書等管理条例の特色は

問 市の諸活動や歴史的事実の記録である公文書^{*2}は、市民共有の知的資源として、市民が主体的に利用し得るものであり、適切に管理する必要があるが、本市の公文書等管理条例の特色を伺う。

答 公文書をスキャナにより読み取るなどして作成した電磁的記録等(複製)の保存をもって公文書の保存に代えることができる規定を設けている。この運用を条例に規定するのは政令市初であり、保存場所の縮小や紙が劣化する前に記録を残すことができるという利点がある。



保健消防委員会 議案5件 請願1件

新病院における高齢者医療の充実化の取り組みは

問 海浜病院の老朽化対策として整備する新病院では、整形外科や泌尿器科等の高齢者の医療需要に対し、どのように取り組むのか伺う。

答 整形外科、呼吸器科、泌尿器科などの医師の段階的な増員に努めることで、高齢者に多い骨折、肺炎、泌尿器系の疾患等に対応が可能となる。また、救急科や脳神経外科の体制充実により、救急患者をより多く受け入れることが可能となるとともに、がん診療についても専門医の確保による診療体制の充実強化に取り組んでいく。



環境経済委員会 議案10件

芸術祭の評価と目標は

問 令和3年度に初めて開催した芸術祭の評価と令和7年度開催に向けた数値目標は。

答 近隣住民のスタッフとしての参加や被写体としての児童生徒の写真作品への参加など、市民の皆様が参加・体験しやすい芸術祭とすることができた。また、公共施設の新たな活用方法の提示や、市にゆかりのあるアーティストに参加いただき、文化芸術の取り組み・人材の魅力を発信できた。今回は美術館の展覧会の年間入場者数に匹敵する約15万人以上の来場者数を目標としていきたい。



教育未来委員会 議案5件

子ども医療費助成事業の制度改正の周知方法は

問 子育て家庭の一層の負担軽減を図るため、令和6年8月から助成対象を高校3年生相当年齢まで拡大するとともに、保護者負担額を引き下げるが、その周知方法について伺う。

答 市政だよりや市ホームページで周知するとともに、医療機関に周知ポスターの掲示を依頼する。このほか、新たに助成対象となる高校生世代の子どもがいる世帯には、個別に申請勸奨の案内を送付する。現在の対象者には、来年度の受給券を送付する際に、周知を図る予定である。



都市建設委員会 議案8件

空家等及び空地の対策の推進に関する条例の改正内容は

問 「空家対策の推進に関する特別措置法」の改正に伴い、条例を改正するとのことだが、空き家対策は具体的にどうなるのか。

答 放置すれば特定空家等^{*3}になるおそれがあるとして市が認めるものを「管理不全空家等」とする。特定空家等に加え、これも指導・勧告の対象となり、勧告を受けると、固定資産税が低く抑えられている住宅用地特例の対象から除外される。これにより、所有者の自主的な適正管理を促し、空き家を流通・活用させていきたい。



用語解説

- *1 チバノサトエリア 若葉区・緑区及びその周辺にある自然豊かなグリーンツーリズム(農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動)が楽しめるエリア
- *2 公文書 実施機関の職員が職務上作成、または取得した文書などであり、職員が組織的に用いるものとして、実施機関が保有しているもの。
- *3 特定空家等 放置することが不適切な状態にある空家等をいう。倒壊等著しく保安上危険となるおそれ、著しく衛生上有害となるおそれ、著しく景観を損なっている状態などがこれに当たる。

令和5年第4回定例会 主な会議日程

11/29 [水]	本会議(開会)	12/5 [火]	常任委員会 2・3面	12/11 [月]~15 [金]	本会議(一般質問)
12/ 4 [月]	本会議(議案質疑)	12/7 [木]・8 [金]	本会議(代表質問) 2・3面	12/18 [月]	本会議(委員長報告、討論、採決) 4面

公明党千葉市議会議員団

青山 雅紀



災害時に支援が必要な方の「個別避難計画」の作成目標は

問 国は避難行動要支援者の計画作成目標を令和7年度までとしているが、本市の目標は。

答 災害時要配慮者名簿から、土砂災害警戒区域の方、要介護等が高く特に支援を要する方など約4,000人を対象に、同意を得た方につき令和7年度までの作成を目指す。作成後、訓練での検証や状況による見直しが必要と考える。

「チバノサトエリア」の活性化の方向性は

問 グリーンツーリズムを意識した観光プランの充実や観光資源の創出等に取り組んでいるが、チバノサトエリア^{*1}の活性化の取り組みは。

答 エリア内資源の観光マップへの記載等による周遊促進や、民間事業者と連携した新たな観光資源の開発等に取り組む。また、訪日外国人向けに、四季折々の見どころを海外へ発信していく。



富田さとにわ耕園

日本共産党千葉市議会議員団

盛田 眞弓



我が会派の予算要望の受け止めと反映状況は

問 物価高騰対策や市民本位の市政の推進などの要望に対する受け止めと反映状況を伺う。

答 物価の動向や国・県の対策の実施状況等を総合的に勘案し、的確な対応に努める必要があると認識している。新年度予算は市税収入が減少し、地方交付税等も大きな増額は見込めないが、市民サービスの一層の向上に向け、予算編成の中で検討する。

(仮称)こども発達相談室の開設に向けた取り組みは

問 相談室の準備状況と、開設による療育相談所の相談待機期間の短縮見込みを伺う。

答 心理学専攻課程を有する全国の大学等への採用活動や、先進自治体に心理判定員を派遣するなどの準備を進めている。また、療育相談所に対応していた相談を、一旦相談室で受け、医学診断につなぐことで、相談待機期間の短縮につなげたい。



日本維新の会・無所属の会

櫻井 崇



小中一貫校の必要性は

問 風通しの良い教育環境を作るため、小中一貫校が必要だと考えるが、本市の考えを伺う。

答 本市では3つの中学校区で小中一貫教育を進めている。今後も小中一貫校の特色ある教育活動の充実に取り組み、市立小・中学校へその成果を周知するなど、小中学校間の連携充実を図る。

救命体制における課題への対策は

問 増加する救急需要への対策として、救急車の増車等が必要と考えるが、今後の対策を伺う。

答 救急需要抑制のため、市救急受診ガイドなどの広報や、救急車の頻回利用者対応などを行っていく。また、さらなる救急需要の増加に備え、新たな救急車の配備を検討していく。



- 議員定数50人(令和6年1月9日現在)
- ◆自由民主党千葉市議会議員団17人
- ◆立憲民主・無所属千葉市議会議員団11人
- ◆公明党千葉市議会議員団8人
- ◆日本共産党千葉市議会議員団7人
- ◆日本維新の会・無所属の会5人
- ◆無所属2人